



社長年頭挨拶 ——デジタル社会の時代を迎えて—

昨年の今頃はワクチン接種さえ進めば新型コロナ禍も収束し、かつての生活スタイルに戻れるとの淡い期待を多くの人が抱いていました。残念ながら国民の大多数が2回の接種を終えたにも拘わらず、収束には程遠い状況にあります。3回目のワクチン接種や治療薬開発などにより、一刻も早い収束が訪れる 것을切望します。

コロナ禍は、社会の様々な課題を顕在化させました。その最大の一つがデジタル化の遅れでしょう。「IT立国」、「電子立国日本」と称されたのは昔話となり、OECDによると行政手続申請におけるインターネット利用率は加盟34カ国平均40.3%に対し、我が国は7%強に過ぎないそうです。その理由について、ある識者は、「日本のIT人材は諸外国に比べ情報通信産業に集中し公務セクターに流入しないため、行政のデジタル化を進み難くしている」と指摘しています。昨年9月に設置されたデジタル庁が省庁横断的行政のデジタル化を牽引することが期待されます。

当社の最大の使命はエネルギーの安定的かつ経済的な供給であると共に、この使命を果たすため役職員のITリテラシーを高め、お客さまに提供するサービスの質を高める必要があります。エネルギー自体は質で差別化することが難しいことから価格競争に陥ることを避けるため、デジタル技術を駆使したサービスの質の向上に注力しましょう。

当社において、ややもすればITは外部専門家または社内の担当部署に任せておけば良いといった風潮があったことは否めません。この反省のもとに全部署が参加し、RPA導入やDX推進を検討する会議体を立ち上げました。幸いにして会議において多くの建設的な意見を出して頂いた成果として、5件の業務へのRPA導入による業務効率化、サーバークラウド化や役職員の保有するPCのシンクライアント化によるBCP強化、リモートワークの環境改善などを実行に移してきました。また、ITに関する資格取得奨励制度の創設など人材育成面の充実も図っています。

かつての「読み書き算盤」から、「読み書きIT」の時代に移りました。全ての業務について前例にとらわれることなく、デジタル技術の活用を検討し、デジタルへの取り組みを更に進化させる年としましょう。

最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい年となることを祈念します。

代表取締役社長 奉好男



謹賀新年
宝

社員紹介

技術営業部 ガス営業課

平良 隆一郎
(たいら りゅういちろう)

■学歴:
2015年3月 琉球大学 工学部
電気電子工学科卒

■入社:2019年1月

■主な資格:

- ・ガス主任技術者(甲種)
- ・高圧ガス製造保安責任者(乙種)
- ・高圧ガス販売主任者(二種)



▲2018年冬にアメリカシアトルにて

Q1. 仕事内容について教えて下さい。

重油などの油系燃料を使用しているお客さまへ、天然ガスの提案営業や天然ガス仕入れ先および卸供給先との需給調整などの業務を行っています。昨年にはお客さまのエネルギー環境に対する理解を深めるため、エネルギー管理士試験に挑戦し、合格できました。また、社内サーバークラウド化の際にはファイルサーバー整理プロジェクトのメンバーとして活動しました。

Q2. 仕事を進める上で気をつけていることは何ですか?

認識・判断ミスを防ぐため、最近は相手とやり取りをする中で、どこが事実でどこが推測・解釈かを頭の中で切り分けながら話すように心がけています。最終的には自分の思いを簡潔に伝え、相手の主張もうまく受け取れるようになることが当面の目標です。

Q3. 仕事のやりがいについて教えて下さい。

当社は天然ガス供給事業を開始して6年程とガス供給事業者の中では後発の部類に入ります。そのため前例の無い事象に直面することが多々あります。それらを上長や先輩と議論を重ね、解決に至ったときに自身の成長につながったとやりがいを感じます。

Q4. 趣味はですか?

旅行が趣味ですが、しばらく行けない状況が続いています。最近は各自治体がコロナ禍で困っている食品業者へ支援策を打ち出しており、割安で購入できるため旅行に行けない代わりに各地の果物や魚介類などを取り寄せて食べることにはまっています。

当社業務紹介 (第8回目)

[技術営業部 ガス業務課] サテライト点検業務について

私たちガス業務課は毎日サテライトを見回り、ガスの漏洩をはじめ機器の動作不良など異常がないか点検し、予知保全に努めています。また年次自主検査として、指示計器の検査並びにガス漏えい検知器、安全弁、緊急停止装置などの健全性などの試験を行っています。さらに数年に1度は気化器の通常密封されて見えない内部も計画的に停止、解体して蒸発管などに亀裂が発生していないか、カラーチェック(浸透探傷検査)にかけて詳細検査を行っております。



〈担当: 西浜宏治さんの一言〉

私たちは夜間・正月いつでも、お客さまが必要な時にガスをご提供できるように、日頃より不断の努力を持ってガスの安定供給に努めています。



▲日常点検作業(ガス漏洩検査)



▲年次自主検査作業(気化器解放検査)

編/集/後/記

○先日、政府が発表した2020年の国勢調査によると、当社地元の中城村の過去5年間の人口増加率が13.9%と、全国で実質3位、県内1位となったそうです(東日本大震災の影響を受けた福島県を除く)。地元との共存共栄に向け、当社として何ができるのか、知恵を出していきたいと思いを新たにしました。

○真新しい日本硬貨を初めて見たのは小学校2年の時。ピカピカのお金はまるでおもちゃのコインのよう珍しかった。学校ではニコニコマークの下敷きと筆箱が配られ、クラス全体が歓喜の中、ワクワクしながら時代の変化を感じていた。あれから半世紀、本土復帰50周年は、あの頃のようにワクワクしながら迎えたい。

1

【訓練】

防災訓練

11月15日、沖縄電力の総合防災訓練と連携したガス設備の監視訓練を実施しました。訓練は沖縄本島南東沖で大規模地震が発生し、それに伴い当社社屋が津波被害を受け、サテライト設備の状態監視が一時不能になると想定したシナリオの下で行われました。

▲ガス業務課
安里 課長代理

参加者の声

今回の訓練を通じ、非常時においては関係先との連携が重要であることを改めて強く感じました。また、今回の訓練を踏まえ、非常時を想定した遠隔監視体制の一層の強化に取り組んでいきます。

3

【社内イベント】

ウォーキングイベント

11月1日～12月24日の54日間の日程で、沖縄電力の同様のイベントに合わせて社員の健康増進を目的に「PECウォーキングイベント」を開催しました。

スマートフォンなどの歩数計で日々の歩数を測定記録し、個人部門は上位1位～5位まで、また部署対抗としてガス業務課を表彰しました。▲上位5位の方々



4

【地元清掃活動】

中城一斉清掃

11月17日に、中城村一斉清掃があり、泊区の清掃に参加しました。今回は、道路まではみ出した大木の枝を高所作業車を使って伐採する作業が中心でした。



▲高所作業車による枝切り



▲清掃活動後、区民の方と

6

【社内イベント】

中城ハンタ道散策

11月13日に、当社社員及びその家族15名が「中城ハンタ道※」約4キロを歩き、12～14世紀頃の集落跡や御嶽、戦跡などを散策しました。

※琉球王朝時代の首里城から勝連城までを結ぶ幹線道の一部。



▲ペリーの旗立岩にて



▲屋我さん親子

5

【トピックス】

照屋 智也さん、新成人おめでとう

1月4日に、社内成人式を行いました。式では湊社長より、これまで育てて頂いた方への感謝を忘れないで貢献したいとともに、将来は当社のエースとして飛躍することを期待するとの挨拶がありました。



照屋 智也さんのコメント

今まで見守って頂いた家族、ご指導頂いていますPECの皆さんに感謝申し上げます。今後も一層探求心を持ち業務に取り組んで参ります。

参加者の声
屋我 綾乃さん

琉球の歴史を感じながら、車窓とまた違った中城道を眺めることができ、ゴール地点の中城跡頂上からの景色は『最高～！』。疲れも吹き飛ぶ絶景でした。おかげさまで癒しのウォーキングとなり、親子共々充実した休日を過ごせました。

2021年プログレッシブエナジー5大ニュース

1. 設立20周年

8月23日に、当社は設立20周年を迎えました。コロナ禍収束の兆しが見えない状況で、記念パーティーなど、人の集まるイベントは見送らざるを得ない中、社史発刊と創立のTシャツを作成しました。



▲ドローンによる社史掲載用人文字撮影

2. 石川火力発電所 非常用発電設備設置工事竣工

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う大規模停電を受け、沖縄電力は、電力インフラにおけるレジリエンス強化を目的に、石川火力発電所構内に非常用発電設備(出力:4,000kVA)の新設を決定し、一昨年9月に当社が受注しました。

9月に新設建屋内へ主要機器を搬入し、その後、機器の据付調整や周辺工事、各種試運転といった工程を無事故・無災害で終え、12月末日に竣工することができました。



▲非常用発電設備搬入の様子

3. LNGタンクローリー出荷4,000回達成

3月5日に、2015年5月のLNG出荷開始以来、累計出荷回数4,000回を無事故で達成しました。今後ともりゅうせき様とともに安定供給に努めてまいります。現在17カ所へ出荷し、12月末現在4,886回に達しています。



▲左より当社楚南 健さん、(株)りゅうせき 古堅宏和さん

4. 第3回 日本太平洋島嶼国経済フォーラム

11月24日に、オンライン形式で開催された経済フォーラムにおいて、当社よりトンガ王国可倒式風車導入案件を紹介しました。(詳しくは本号トピックスをご参照下さい)これは、当社において初の国際会議におけるプレゼンテーションです。

今後も、トンガ案件で得られた知見を活かし、島嶼国など域外での事業展開にも注力する方針です。



▲経済フォーラムに参加する湊社長

5. 美里工業高等学校で進路講話

3月2日に、技術営業部 電機課の照屋智也さんが、母校である美里工業高等学校の依頼により、同校機械科2年生約70名に進路講話を行いました。

進路講話では、学生時代の資格取得や就職活動時の会社説明会への参加、入社前のイメージと入社後のギャップなどについて話しました。

生徒からは入社試験の内容など、多くの質問があり、関心の強さが伺えました。



▲照屋智也さんによる進路講話の様子

番外編 <東京五輪閉会式>

8月8日に開催された東京五輪閉会式における日本の伝統芸能紹介コーナーで、電機課の西野志立さんが会長を務める平敷屋青年会のエイサー演舞の映像がメインスクリーンを通じて約1分半の間、全世界に発信されました。



▲平敷屋青年会エイサー演舞の様子